アドベンチャーワールド

報道関係者各位　　２０２０年1月１４日

こころにスマイル　未来創造パーク

キングペンギンの赤ちゃんが誕生しました！

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）では、２０２０年1月８日（水）にキングペンギンの赤ちゃんが誕生しました。当パークでは、親鳥の重みで赤ちゃんが潰されてしまわないよう、保育器で体重が卵と同じ重さ（約３００ｇ）になるまで人の手で育て、体力をつけてから親鳥の元へ返す「初期人工育雛」という方法で親鳥をサポートします。スタッフが親代わりとなりニシン、オキアミ、生クリームを流動状にしたものを与えており、ペンギン王国１階でご覧いただけます。誕生した赤ちゃんが無事育つよう、温かく見守ってください。

▶１月８日に誕生したキングペンギンの赤ちゃん
（２０２０年1月１１日撮影）

【キングペンギンの赤ちゃんの成長について】
生後約３ヶ月後のキングペンギンの赤ちゃんは、脂肪を蓄えるために茶色のふわふわとした柔らかい羽毛に覆われ、親鳥よりも大きく見えるようになります。柔らかい羽毛は生後約６ヶ月で大人の羽根に生え変わり、自力で泳ぐことができるようになります。

▶茶色のふわふわの羽毛に覆われたキングペンギンの赤ちゃん
（生後約２ヶ月後）

【キングペンギンの赤ちゃんについて】

■出 生 日：２０２０年　1月　8日（水）
■産 卵 日：２０１９年１１月１３日（水）
■孵化日数：５７日
■性　　別：不明
■出生体重：２０４g
■両　　親：母親　２０１４年1月２５日　アドベンチャーワールド生まれ
　　父親　２０１１年3月２０日　アドベンチャーワールド生まれ
■公開場所：ペンギン王国１階
　　※動物の体調により、公開時間を変更または休止する場合がございます。

※　現在、この他にも６個の有精卵を確認しており、順調に成長すると、今年１月中旬から２月初旬かけて誕生予定です。

【キングペンギンの大人（成鳥）と赤ちゃん（ヒナ）の羽根の違い】

成羽(せいう)　　綿羽(めんう)

成羽(せいう)　　綿羽(めんう)

成羽(せいう)（**成鳥**の羽根）
　羽根一本が二層になっており、羽軸の根本にはふわふわの「綿羽（めんう）」、　上部の「羽弁（うべん）」は固く水をはじく構造です。

綿羽(めんう)（**ヒナ**の羽根）
　体温を保つための役割があります。ジェンツーペンギンやケープペンギンなどの小さなペンギンに比べて体が大きいため、１本１本の羽根が長いという特徴があります。

【次々と姿を変えるキングペンギン】

【アドベンチャーワールド　ペンギンプロジェクトについて】
　アドベンチャーワールドでは、現在８種類約４５０羽のペンギンが暮らしています。１９７８年の開園時にフンボルトペンギンとイワトビペンギンの飼育を開始し、１９９０年から自然界で暮らすペンギンコロニー（繁殖群）を再現すべく、「ペンギンプロジェクト」として本格的に飼育・繁殖研究に力を注いできました。アデリーペンギン、ヒゲペンギン、ジェンツーペンギン、キングペンギンと繁殖実績を積み、１９９７年に世界最大のペンギン、エンペラーペンギンの繁殖研究を開始しました。

【アドベンチャーワールド ペンギン繁殖実績について】
１９７８年 ：フンボルトペンギン初繁殖
１９９０年 ：アデリーペンギン、ヒゲペンギン、ジェンツーペンギンの卵を搬入 人工孵化、育雛を行う
１９９２年 ：キングペンギンの卵を搬入。人工孵化、育雛を行う
１９９４年 ：ジェンツーペンギン初繁殖
１９９５年 ：キングペンギン初繁殖
１９９６年 ：アデリーペンギン初繁殖
１９９７年 ：エンペラーペンギンの赤ちゃんを搬入、人工育雛を行う
１９９８年 ：ケープペンギン初繁殖
１９９９年 ：ヒゲペンギン初繁殖
２００４年 ：世界でも２園館目となるエンペラーペンギンの繁殖に国内初成功
２００５年 ：エンペラーペンギンの国内初繁殖に対して日本動物園水族館協会より「繁殖賞」を受賞
２００６年 ：イワトビペンギン初繁殖。これにより国内最多となる 8 種類のペンギンの繁殖に成功

【キングペンギンについて】
■分　類：ペンギン目ペンギン科
■学　名：*Aptenodytes patagonicus*
■英　名：King Penguin
■生息地：フォークランド諸島、サウスジョージア島などの亜南極圏
■食　性：アドベンチャーワールドでは主にホッケ、シシャモなど
■繁　殖：1 度の繁殖で 1 個の卵を産み、足の上にのせ腹部の皮（抱卵嚢）をかぶせ、オスとメスが交代しながら５２～５６日抱卵する。
■寿　命：２０～３０年　■体　長：８５～９５cm　■体　重：約１５kg
■特　徴：頭や胸元の鮮やかな色が特徴。
名前の由来はエンペラーペンギンの発見まで最も大きなペンギンとされていたため、キング（オウサマ）ペンギンと名付けられた。